MITSUBISHI

1302871HP2003

給気用ダクト用換気扇 ［ミックスフロー機能搭載］（24 時間換気機能付タイプ）
〔居室用〕

形名	使用可能地区	フィルター
VD-13ZQMX（-BE）	温暖、準寒冷地区	高性能除じんフィルター
VD-13ZQMX（-BE）-D	温暖～寒冷地区	
VD-13ZPQD		外気清浄フィルター

取付工事説明書　　販売店・工事店さま用

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

正しく安全に取付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。
なお「安全のために必ず守ること」は取付工事上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

■取付工事、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
■この製品は 24 時間換気運転の給気専用です。
■この製品は居室・事務所・店舗の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
■この製品には市販の埋込みスイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱電機換気送風機カタログより別途ご用意ください。
■当社以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマー等）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめ確認ください。
■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の鋼板管、アルミフレキシブルダクト、塩化ビニル管のいずれかをご用意ください。（ダクトには結露防止のため断熱処理をしてください。）

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因
分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因
指示に従う	●交流100Ｖを使用する 火災・感電の原因 ●外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因
浴室での使用禁止	●浴室など湿気の多い場所には取付けない 感電・故障の原因
指示に従う	●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因 ●部品の取付けは確実に行う 落下によりけがの原因 ●取付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因 ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因

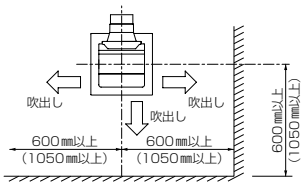
取付け前のお願い

お願い

24 時間換気機能を得るためには下記点に留意ください。
●ドアのアンダーカット等により空気の流通経路を確保してください。
●効果的な換気が行えるよう、排気用の換気扇と併用をおすすめします。

取付け

●プラスチックボディタイプダクト用換気扇及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁 (特に消防署) にご相談ください。
●高温 (40℃以上) になるところに取付けないでください。
●傾斜天井には取付けないでください。振動、異常音の原因となります。
●濃霧が頻繁に発生する地域や海岸に近い場所には取付けないでください。
● VD-13ZQMX（-BE）は寒冷地区には取付けないでください。
●本体設置位置は壁面から本体中心まで 600 ㎜以上（VD-13ZPQD は 1050 ㎜以上）離してください。また，吹出し空気が直接人に当たらない向きに設置してください。壁面に向かって吹出すことをおすすめします。

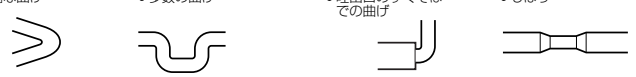


※（　　）内数値はVD-13ZPQDの場合

天井･ダクト工事

●天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
●屋外温度が－ 10℃以下の場合は空気条件により天井裏で結露するおそれがありますので、天井裏に厚さ 50 ㎜以上の断熱材を本体とすき間のないように本体周囲（400 ㎜以上）に敷設してください。
●給気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1 /100 以上の下りこう配をつけてください。
●給気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を取付けてください。
●ダクトには結露防止のため断熱処理をしてください。
●次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

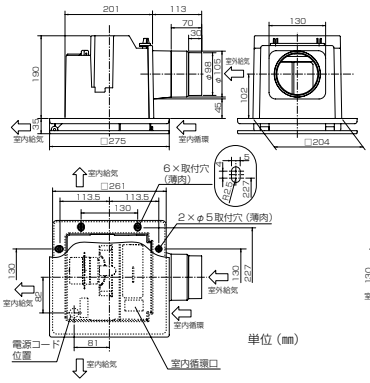
●極端な曲げ　●多数の曲げ　●吐出口のすぐそばでの曲げ　●しぼり



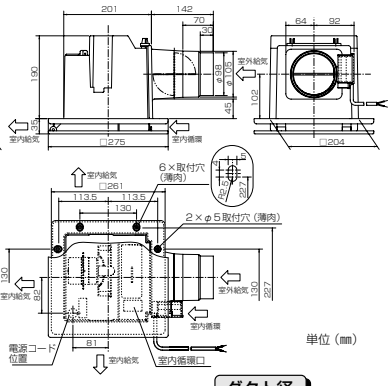
●天吊金具を使用する場合は、製品の着脱ができるように点検口を設けてください。点検口がない場合の製品取替え等で、天井などを壊す場合は、お客様の費用ご負担となります。

外形寸法図

■VD-13ZQMX（-BE）



■VD-13ZQMX（-BE）-D
VD-13ZPQD



ダクト径
φ 100 ㎜

埋込寸法
□215 ㎜
（野縁高さ 40 ㎜以下）

付属部品

木ネジ……6本

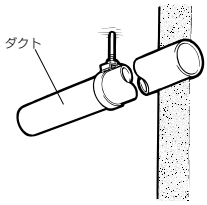
取付方法

※天吊金具を使用される場合は“天吊金具を使用する場合”をご覧ください。

取付手順例

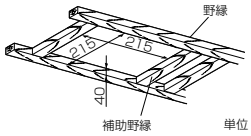
1 ダクト工事 ⇨ 2 野縁工事 ⇨ 3 ダクト接続 ⇨ 4 本体の取付け ⇨ 5 電気工事 ⇨ 6 天井材を張る ⇨ 7 グリルの取付け

1 ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。
●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。

2 野縁工事

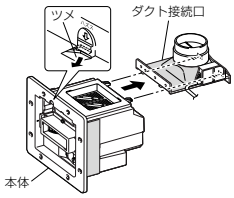


内寸が 215 ㎜、高さが 40 ㎜以下になるよう天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。

メモ
●野縁高さを 40 ㎜以上で取付けるとシャッター開閉不良、異常音の原因となります。

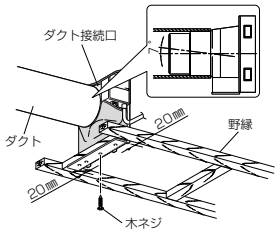
3 ダクト接続

1



ダクト接続口の取りはずし
●本体内側のツメを矢印の方向に押えながらダクト接続口を左図のように本体から取りはずす。

2



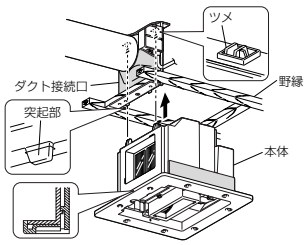
ダクト接続口の固定
（1）ダクト接続口をダクトに差し込む。
（2）ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ 1 本で野縁の中心に固定する。
（両サイドに 20 ㎜ほどのすき間があきます）
●塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。（全方向 7°）

お願い
●ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。

取付方法　つづき

4 本体の取付け

1



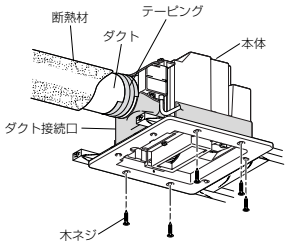
本体の差し込み

（1）本体を野縁にそって差し込む。

（2）ダクト接続口とのはめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の突起部を本体下部の角穴にはめ込む。

- 本体フランジ部にある矢印付近を押すと「パチン」と音がしてはめ込まれます。

2



本体の固定

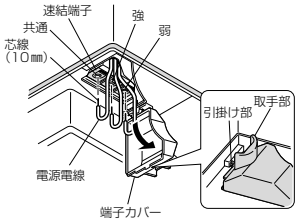
（1）本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ（5本）で本体をすき間のないようにしっかり固定する。

- 取付穴はすきま防止のため薄肉がついていますので、ネジ締付けの際はネジ先端で薄肉部を突き破ってください。

（2）風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。

- 結露防止のためダクト及びダクト接続テーピング部に断熱処理をしてください。

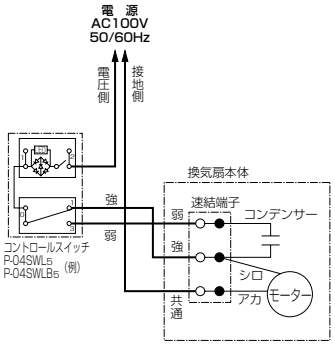
5 電気工事



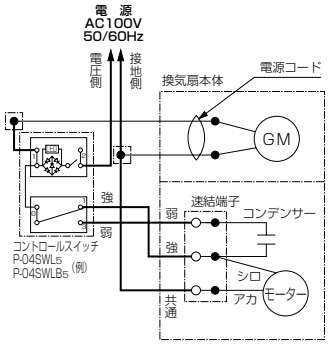
1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線 VVF ケーブルφ 1.6、φ 2）を通す。
2. 端子カバーの取手部に指を掛け下に引いて端子カバーを開け、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（結線図参照）
3. 電気式シャッターはダクト接続口側面の電源電線に結線する。（結線図参照）
   ※必ず電気式シャッターと換気扇が連動するように並列に配線する。（結線図参照）
4. 端子カバーを元通り取付ける。
   「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛け部に確実に固定されていることを確認する。

■結線図 （太線部分を結線する）

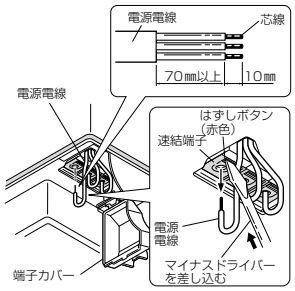
- VD-13ZQMX（-BE）



- VD-13ZQMX（-BE）-D（電気式シャッター付）
  VD-13ZPQD



※定格0.5A－300Vのコントロールスイッチを使用ください。
※上記コントロールスイッチを使用せずに24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。



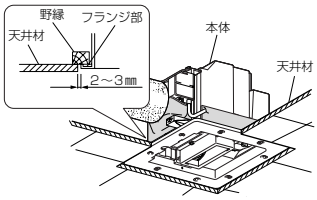
メモ

- ランプ付コントロールスイッチを使用される場合、「強」・「弱」切り替えでランプの明るさが異なりますが異常ではありません。

お願い

- 電気結線を間違えますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客さま負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。
- 取付・点検・修理時に電線の皮むき部に手を触れないでください。
  コンデンサの帯電により感電するおそれがあります。
- 電源電線の外皮は 70 ㎜以上皮むきしてください。
- 電線被ふくは 10 ㎜皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて、皮むきしますと便利です。
  （10 ㎜以上むくと漏電の原因になります）
- より線を結線する場合には、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は接続部に力が加わらないよう本体付近で約 150 ㎜たるませてください。
- 結線図の［→］部分の配線接続部はジョイントボックスに納めてください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン（赤色）を押しながら電源電線を引っぱってはずしてください。

6 天井材を張る

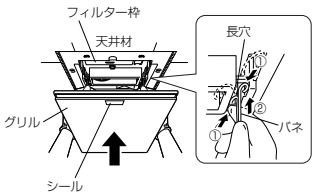


（1）天井材を張る。
（2）本体のフランジ部分と天井材とは必ず 2 ～ 3 ㎜のすき間があくよう角穴をあける。

お願い

- 天井材の厚さは 20 ㎜以下で施工してください。
  （グリルが天井材に密着しない場合があります。）
- 本体のフランジ部分と天井材の間にすき間がないと、電気式シャッターのモーターメンテナンスの際、本体がおろせなくなり、点検口が必要となります。
  （VD-13ZQMX（-BE）-D、VD-13ZPQD）
- 点検口を設ける際は電気式シャッターのモーターメンテナンスが行える位置に設置してください。
  （VD-13ZQMX（-BE）-D、VD-13ZPQD）

7 グリルの取付け



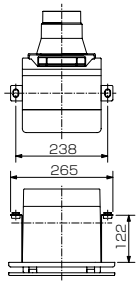
（1）グリルの 2 つのバネを両手で持ち、長穴に差し込む。
（2）手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

- グリルには取付け方向があります。
  シールを本体のフィルター枠側にして取付けてください。

天吊金具を使用する場合

野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して取付ける方法も兼用してください。

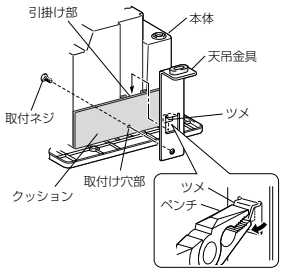
1



単位（㎜）
※図はVD-13ZQMX（-BE）

図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト (M8) を埋め込む。

2

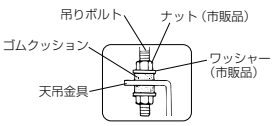


システム部材の天吊金具（P-02TK）のツメを本体に引っ掛けて、内側から取付ネジで固定する。

お願い

- 取付け穴部に本体外側から貼付けているクッションを取付ネジが通るよう穴形状に切欠いてください。
- 天吊金具が本体に引掛けにくい場合は、ツメ部をペンチ等で入りやすく変形させ引掛けてください。

3



本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットで確実に固定する。

天井材の下に本体フランジを取付ける場合

お願い

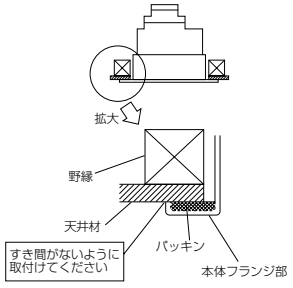
本体の取付けは天井材と本体フランジ部との間にすき間がないように取付けてください。
（天井材と本体フランジ部が密着しないと天井面とグリルの間にすき間が生じる場合があります）

■パッキン材を使用する場合

- 天井材と本体フランジ部の間にパッキン材を使用する場合は薄いもの・軟らかいものを使用し、取付状態ですき間がないようにしてください。

■補強板を使用する場合

- 天井面と本体フランジ部との間に補強板を入れる場合には、その部分の厚さが 1 ㎜以下のものをご使用ください。



試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1. コントロールスイッチにて正常な運転ができますか？
2. 振動・異常音はありませんか？

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573－66－2111

この説明書は、再生紙を使用しています。